



歯のはなし

もし歯を抜くことになったら…? 「**抜歯**」の疑問にお答えします!

歯科医から「**歯を抜く必要があります**」と言われたら、多くの方はショックを受けます。歯を失う悲しみはもちろんのこと、「抜くのが怖い…」「歯を失った後はどうするのか?」など、さまざまな疑問や不安な気持ちを抱くことでしょう。そこで今回は、皆さんの「**抜歯に関する疑問**」についてお答えさせていただきます。

疑問 その1 なぜ抜歯が必要なの?

抜歯に至る原因は主に、**歯周病**と**むし歯**です。歯周病の場合は、歯を支える骨が溶け始めるほど重症化してしまうと、周りにある骨にまで影響を及ぼすため抜歯が必要となります。また、むし歯の場合は、歯の大部分が溶けてなくなり根まで進行してしまうと、歯を支える骨などへの影響も考えて抜歯する必要があります。

疑問 その2 抜歯が怖いのでそのまま放置していい?

抜歯が必要な歯をそのまま放置しておくことは大変危険です。むし歯や歯周病が進行すると、歯や歯ぐきだけでなく、身体にも悪影響を及ぼしてしまう場合もあります。また、噛み合わせや咀嚼機能にも不具合が生じる可能性もあります。



疑問 その3 抜歯はどのように行われるの?

一般的に、抜歯は次のような流れで行われます(※こちらはあくまでも一般的な手順になります。症例によっては手順が変わる場合があります)。

1 歯ぐきの表面に麻酔を塗ってから、部分麻酔の注射をします。



2 麻酔が効いてきたら抜歯を行います(なお、歯が歯ぐきに埋もれているような場合は、歯ぐきの切開や歯の分割などの処置してから抜歯をします)。



3 抜歯した部分を止血します。抜いたところは歯ぐきに穴が開きますが、その部分は次第に血がたまってかさぶたになり、歯ぐきが盛り上がり再生されます(その再生を助けるために、歯ぐきを糸で縫合することもあります)。



4 痛み止めや感染症予防の薬を受け取ったら診療は終了です。抜歯当日は、入浴や激しい運動は控えましょう。

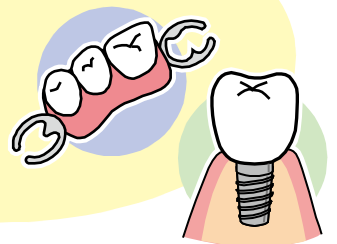
5 翌日、抜歯部の状態確認と消毒をします(歯ぐきを糸で縫合した場合は1週間ほど経ったら糸を外します)。

疑問 その4 抜歯後に注意することは?

抜歯後はいくつか注意点があります。まず、痛みや腫れを最小限に抑えるために、処方された薬は**決められた時間にきちんと飲む**ようにしましょう。また、抜歯後に**患部を冷やす場合は、長くても24時間以内**にしましょう。長く冷やしすぎると血流が悪くなり、逆に回復が遅くなってしまいます。また、**抜歯した当日はできるだけがいは控えましょう**。抜いた後の歯ぐきの穴にたまった血が洗い流されてしまうと、骨が保護されず痛みが長引いたり、細菌に感染しやすくなったりします。

疑問 その5 抜歯した部分の歯を補うには?

抜歯した所を補う方法としては、**部分入れ歯、ブリッジ、インプラント**がありますので、**費用、利便性、見た目、年齢、再発のリスク**などを考慮したうえで、歯科医と相談しながら自分に合ったものを選択しましょう。また、どの装置でも長く快適に使い続けるためには、歯科医院での定期的なチェックやメンテナンスが肝心です。



「抜歯」という辛い選択にならないためにも、歯科検診を定期的に受けて歯周病やむし歯の予防に努めましょう!